

平成27年度 第1回3R連絡会資料



循環型社会の形成について

平成27年7月16日

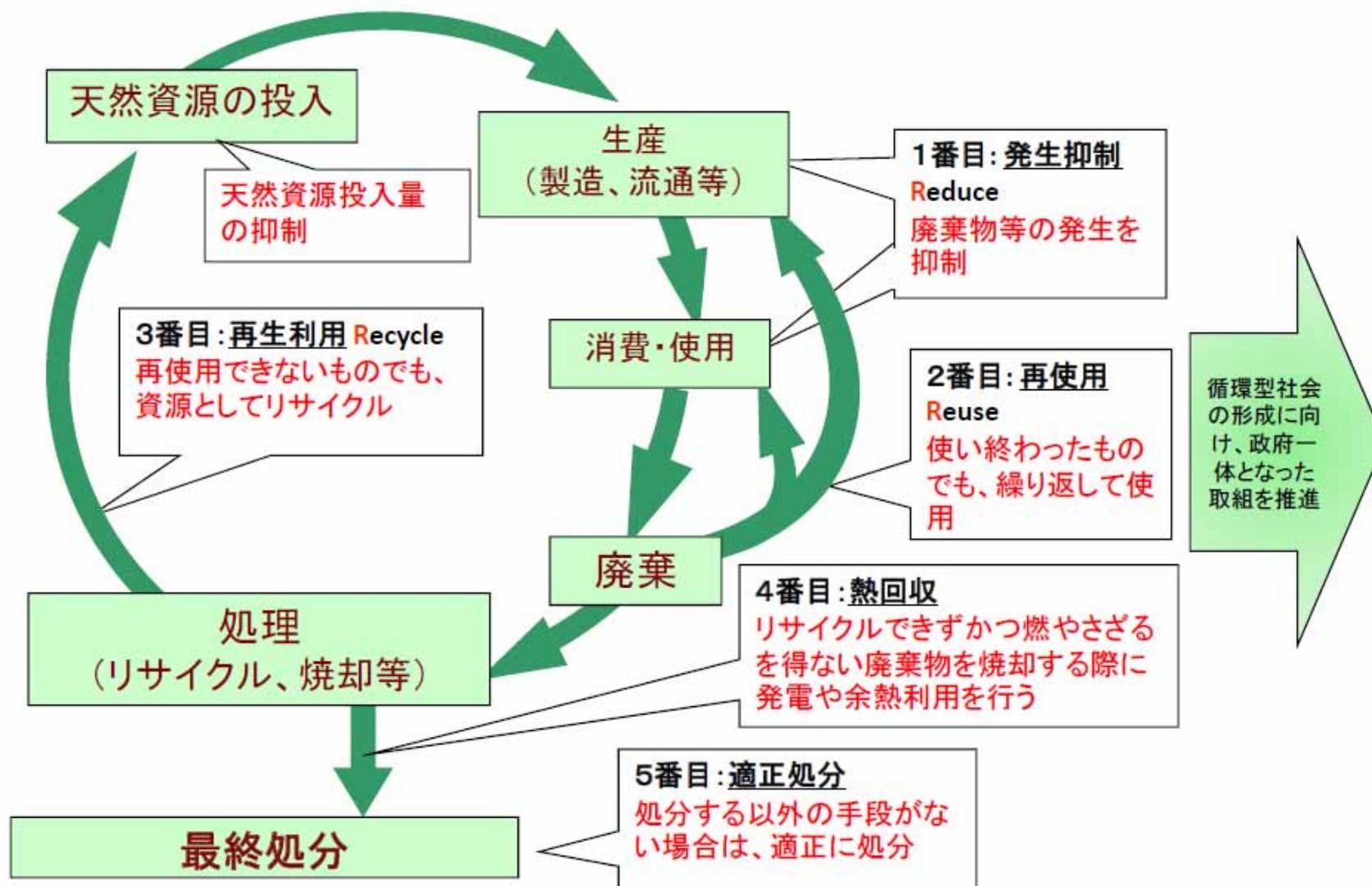
環境省大臣官房

廃棄物・リサイクル対策部企画課

循環型社会推進室

循環型社会とは

廃棄物等の発生抑制と適正な循環的利用・処分により、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会
【循環型社会形成推進基本法（平成12年6月公布、13年1月完全施行） 第二条】



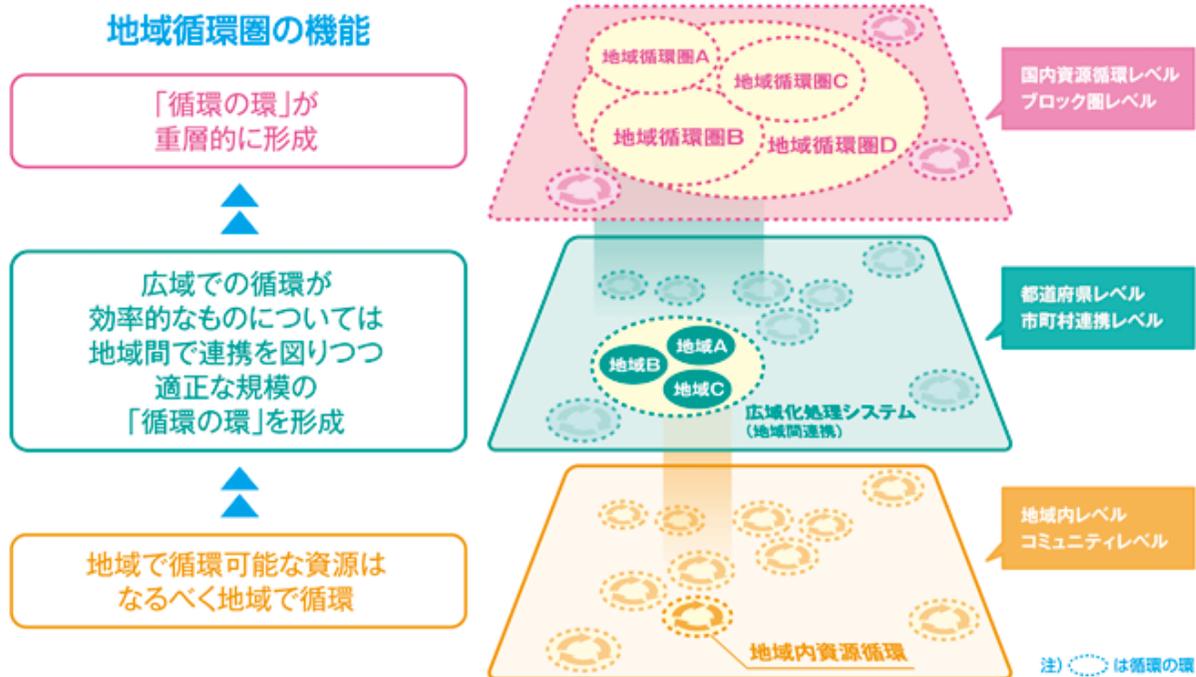
循環型社会形成推進基本計画策定



地域循環圏について

循環型社会づくりのためには、地域の特性や循環資源の性質に応じて、最適な規模の循環(地域循環圏)を形成することが重要。

そのためには、地域で循環可能な資源はなるべく地域で循環させ、地域での循環が困難なものについては循環の輪を広域化させることにより、重層的な循環型の地域づくりを進めることとしている。

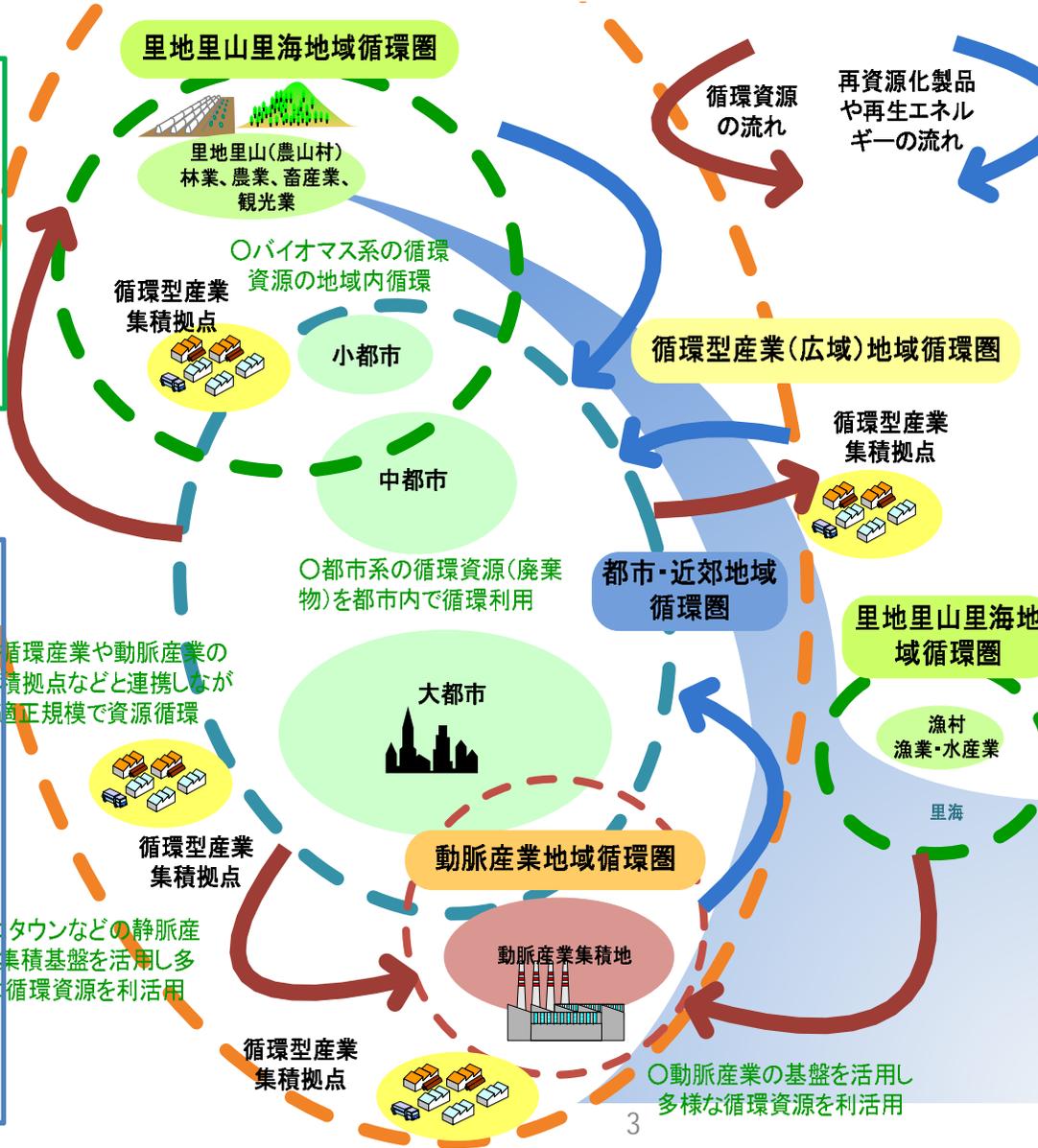


地域循環圏の類型パターン

地域の循環社会基盤(資源再生・処理施設、循環型動脈産業施設)の立地・集積と廃棄物の発生分布など地域特性を活かす地域循環圏の整備

(1) 里地里山里海地域循環圏
農山漁村を中心とした循環圏で、農村水産業に由来するバイオマス資源の地産地消的な利活用を推進する。

(2) 都市・都市近郊地域循環圏
人口集積の多い都市エリアでは多種多様な循環資源を排出します。都市近郊の農村地域の連携も含め、循環型産業集積地(エコタウン等)や動脈産業の集積エリアとも連携をはかりながら、効率的な資源循環を構築する。

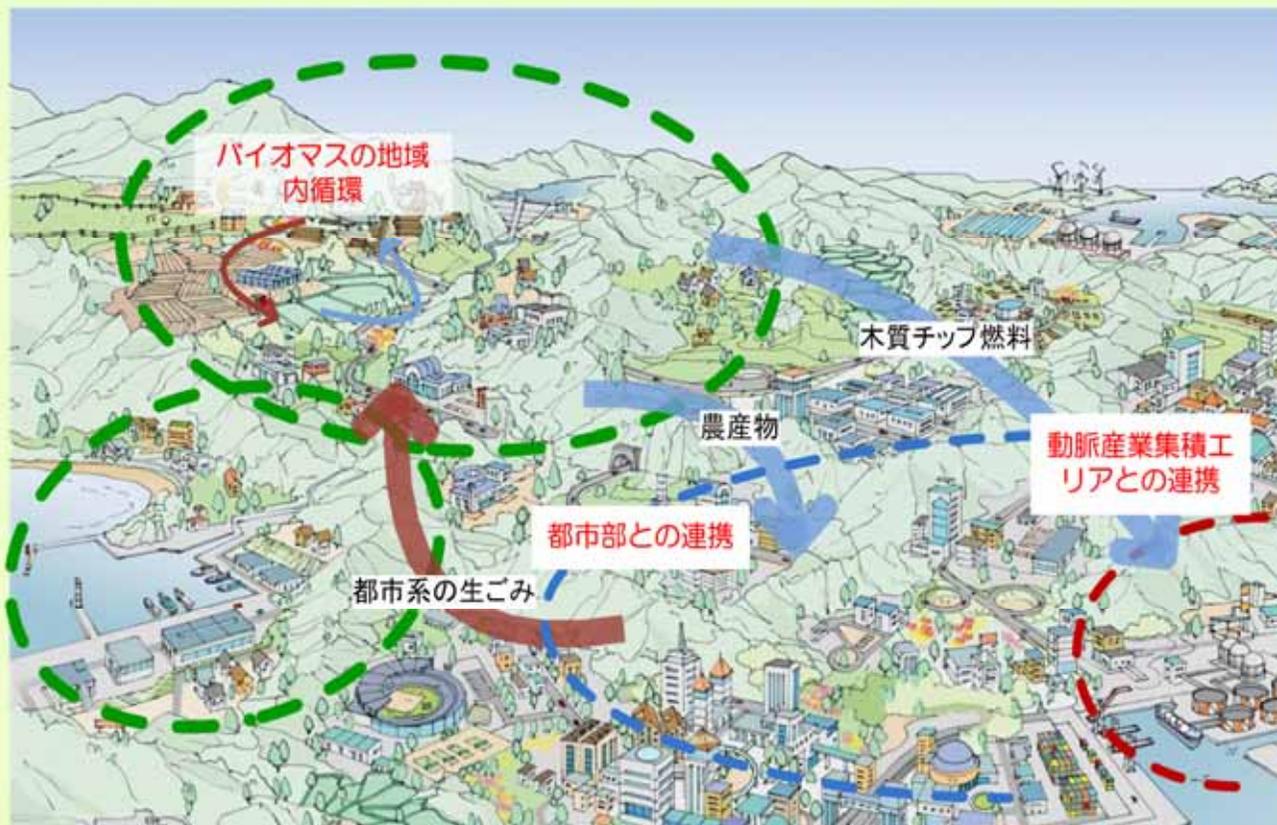


(3) 動脈産業地域循環圏
セメント、鉄鋼、非鉄精錬製紙等の基幹産業の基盤やインフラをこれまで以上に活用しながら、循環資源を大量に抱えもつ大都市エリアとの物流システム等を高度化せ、より効率的な循環システムの構築やエネルギーの利活用システムを高度化。

(4) 循環型産業(広域)地域循環圏
小型電子機構等のリサイクルなどを、動脈産業地域循環圏との連動をはかりながら、レアメタルの回収などで優位性の持つシステムを形成。

里地里山里海地域循環圏のイメージ

里地里山里海地域循環圏



循環資源の流れ

- 都市農村、漁村エリア内の域内循環の活性化
- 都市農村連携（例：食品リサイクルループ）

循環拠点イメージ

- 木質系バイオマス利活用施設（ペレット、チップ化施設）
- 家畜ふん尿、生ごみのメタン発酵施設
- 漁業系廃棄物リサイクル施設

環境ビジネスや雇用の創出

- 都市農村・漁村連携ビジネス（高い付加価値の農水産物生産）
- バイオマス利活用ビジネス
- 一次産業の経営促進

新しい環境活動

- 森林や放置竹林保全、耕作放棄地の利用
- 景観整備、エコツーリズムやグリーンツーリズムの活性化、観光地のにぎわい創出

農山村、漁村を中心とした循環圏で、農林業や水産業に由来するバイオマス資源の地産池消的な利活用を推進します。また、都市や動脈産業と連携した循環システムを構築する。

都市・近郊地域循環圏のイメージ

都市・近郊地域循環圏



循環資源の流れ

- 都市部から大量に排出される循環資源を、既存インフラや動脈産業や静脈産業の集積基盤等と連携して効率的に資源化を促進

循環拠点イメージ

- 静脈産業集積拠点との連携
- 食品廃棄物の堆肥化、飼料化施設
- 下水汚泥のメタン発酵施設
- 食品廃棄物のメタン発酵施設
- プラスチックの選別、工業原料化施設（ソーティングセンター）
- 一般廃棄物の清掃工場、下水処理場
- 民間の廃棄物処理施設

環境ビジネスや雇用の創出

- 一般廃棄物と産業廃棄物の協同処理
- 自治体ごみ処理施設の集約化（財政縮減）
- 都市交通やエネルギー利用分野との連携

新しい環境活動

- エコ・アクション・ポイントの利用やエコマーク商品の普及
- 市民やNPOレベルでのリユース容器の活用、農村部等の連携交流
- 自治会の環境活動の活性化
- グリーン製品の調達促進
- リサイクルステーションや回収ボックスの回収拠点の増強、市民サービスの向上

人口集積の多い都市エリアでは多種多様な循環資源を排出。都市近郊の農村地域、静脈産業集積地（エコタウン等）や動脈産業の集積（臨海部工業地帯等）のエリアとも連携をはかりながら、効率的な資源循環を構築していく。

12.地域循環圏形成における地域活性化のイメージ例(1)

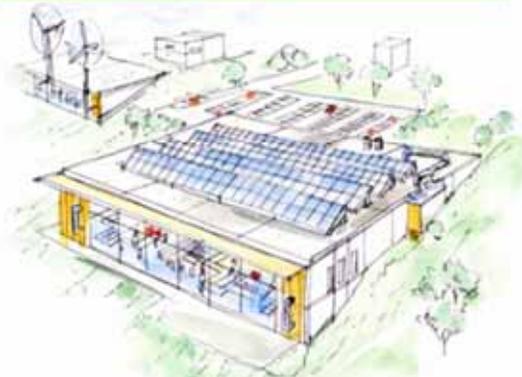
地域循環圏の形成は、家庭から仕事、社会まであらゆる場面で3Rの取組みを加速化し、地域の活性化に貢献していきます。

(1) 家庭や地域活動では.....



資源回収の活性化イメージ

(3) 企業マネジメントでは.....



循環型オフィスパーク

(4) オフィスでは.....



オフィスでのペーパーレスの取組みイメージ

(2) 商店街、スーパー、ショッピングモール、コンビニなどでは.....



身近な生活からもマイバッグやの利用

(5) 工場や生産現場では.....



企業も職場から改善(環境マネジメントシステム)

13.地域循環圏形成における地域活性化のイメージ例(2)

地域循環圏の形成は、家庭から仕事、社会まであらゆる場面で3Rの取組みを加速化し、地域の活性化に貢献していきます。

(6) 農林水産業では.....



農業・畜産系のバイオマスの利用促進イメージ

(8) 公共交通機関などでは.....



エコモビリティの普及

(9) 学校などの教育現場では...



環境教育の実践

(7) レストランなどでは.....



食品リサイクルの促進

(10) 研究機関では.....



計画策定支援ツール開発イメージ



地域循環圏形成モデル事業



各地で地域循環圏の構築を図るため、環境省においてモデル事業を実施。平成26年度は4カ所を実施。

鳥取県の事例

生ごみを分別して回収



再生利用事業者による液肥化

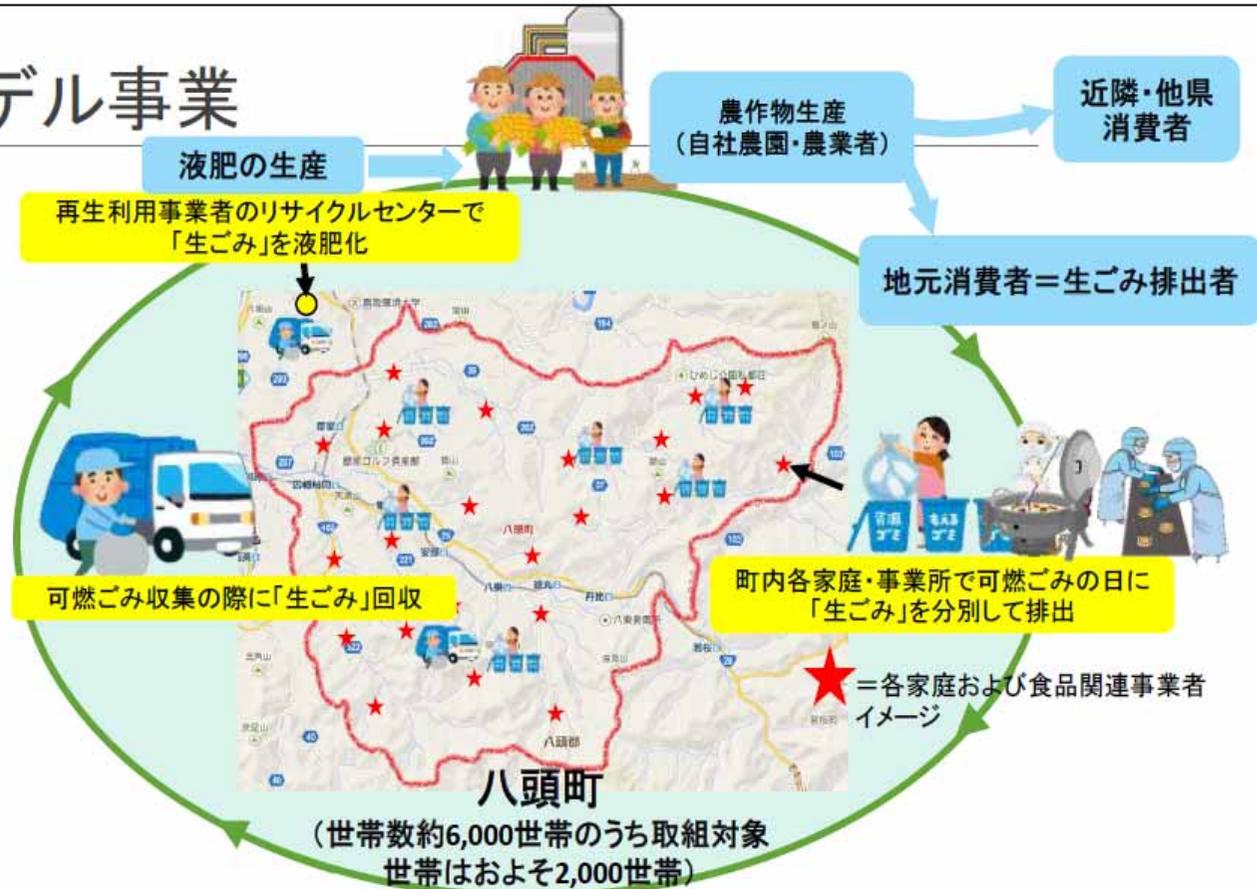


再生利用事業者の自社農園や農業者が液肥を使用し、農作物を生産



農作物を地元消費者が消費し、生ごみとなる

実証モデル事業



実証事業概要

1. 町内の各家庭や事業者から排出される可燃ごみのうち、生ごみを排出者によって分別排出
2. 可燃ごみの日に分別排出された生ごみを再生利用事業者により収集運搬
3. 再生利用事業者の工場で液肥に再資源化
4. 再生利用事業者の自社農園、近隣農業者によって液肥利用した農産物の生産
5. 地元消費者、近隣、他県消費者、へ農産物を販売



平成27年度地域循環圏高度化モデル事業



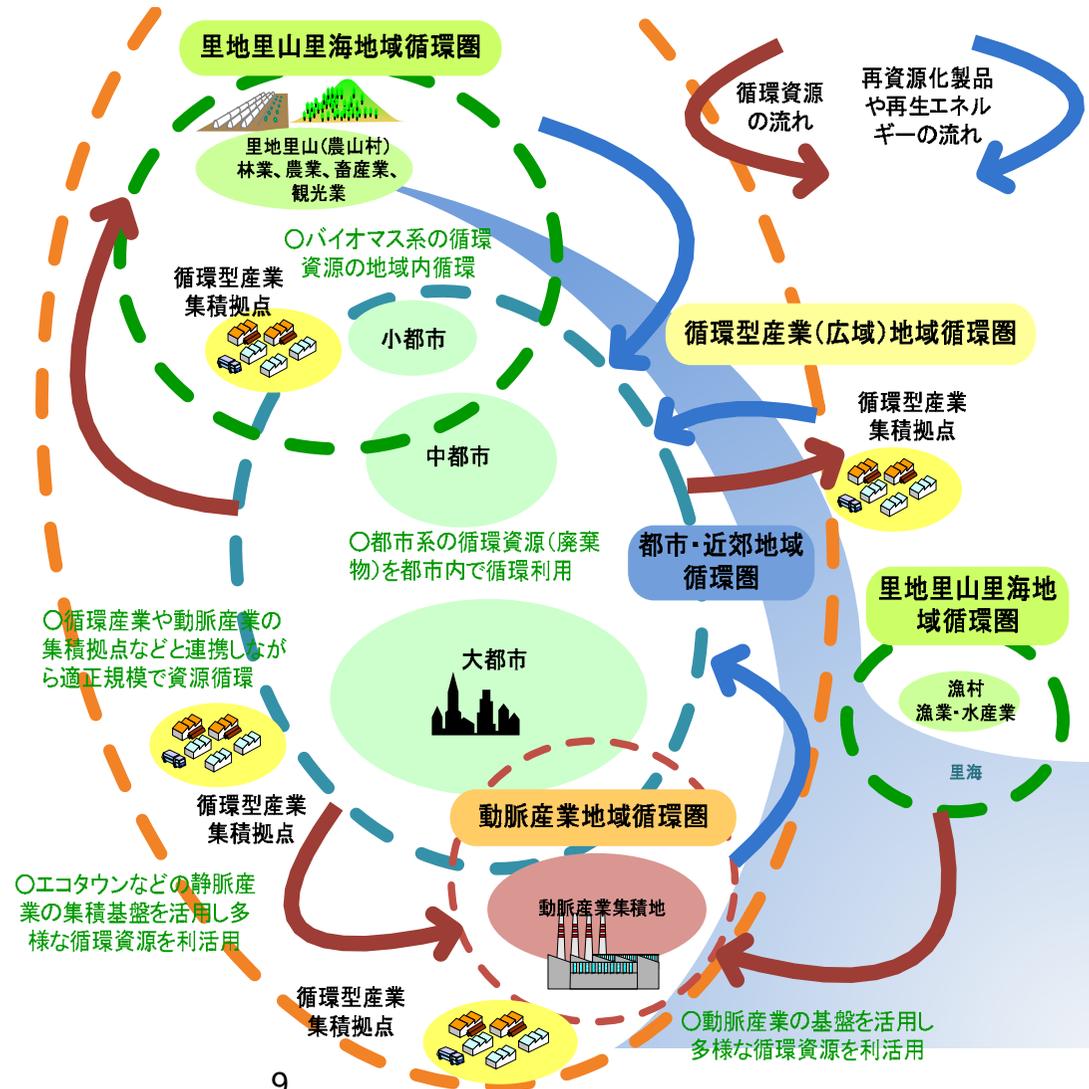
「地域循環圏」の形成の取組を拡充・発生させ、全国各地において地域循環圏づくりを具体化・高度化させていくため、平成27年度、「地域循環圏高度化モデル事業」を実施する。

事業概要

第3次循環型社会形成推進基本計画に定める、地域循環圏の4類型のうち

里地里山里海地域循環圏 都市・近郊地域循環圏

の2ついずれかの地域循環圏を構築し、その上で、地方公共団体を主体としつつ、産(事業者)、学(大学等)、金(地域の金融機関)、民(NPO、地域の住民等)といった地域コミュニティを形成する関係者が協力・連携し、高度な地域循環圏を構築するためのモデルとなる事業を支援する。





リサイクルだけでなく、2Rの取組がより進む 社会経済システムの構築

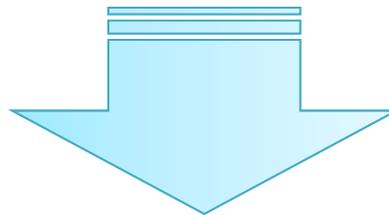


2 Rとは……。

リデュースは、廃棄物等の発生を抑制すること。

廃棄物等は、資源として利用する場合でも少なからず環境への負荷を生じさせることから、これを発生させないことが最も効果的となる。

リユースは、いったん使用された製品等を再び使用すること。形状を維持したまま使用することから、リサイクルに比べ、一般的に資源の滅失が少なく、その過程から発生する廃棄物等の量も少ない。



第三次循環型社会形成推進基本計画（平成25年5月閣議決定）においては、3Rのうち、リサイクルに比べて優先順位が高いものの取組が遅れているリデュース・リユース（2R）の取組がより進む社会経済システムの構築を目指すこととされた。

リユース食器の利用促進

サッカースタジアムのようなイベント型施設や、夏祭り、野外でのスポーツ大会のようなイベント会場など、特定の期間に大量の容器が使われるときに、リユース食器を使うという取組が近年進みつつあります。

この項では、NPO が中心となり全国にリユース食器の普及を図るとともに、地元で多様な主体と連携を深めている事例と、行政が直接リユース食器を貸し出す事例、行政が域内イベントでのリユース食器利用を促進するために助成制度を設けた事例を紹介します。

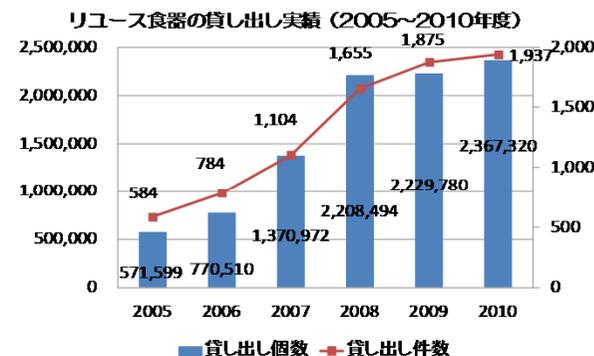
【リユース食器を使うときは】

- 「リユースカップ導入の手引き」(平成 18 年環境省)

http://www.gef.or.jp/activity/life/reuse/report/introduction_reusecup_all.pdf

- 「リユース食器を使ったエコイベント実践マニュアル」(平成 19 年環境省)

<http://www.env.go.jp/recycle/report/h19-02/>



【リユース食器を借りられます】

- リユース食器ネットワーク(2003 年設立)

<http://www.reuse-network.jp/>

全国への普及拡大と地元での仕組づくり(NPO 法人スペースふう)

【取組の概要】

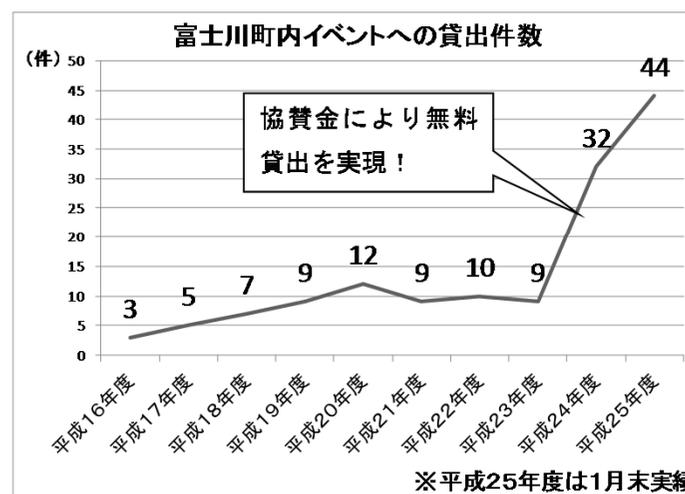
スペースふうは、平成 14 年どんぶり 3,000 食分のほうとうがふるまわれる「甲州増穂まつり(現・甲州富士川まつり)」において、大量に廃棄される使い捨て食器の削減を目指し、**ドイツの事例をヒントにリユース食器を開発**、日本初となるリユース食器の貸出事業を開始しました。

平成 15 年度の本格稼働後の貸出は全国に及び、平成 20 年度には貸出個数が 100 万個を突破しました。今は、拠点を置く山梨県富士川町内で、町や町内団体と連携してリユース食器を使う仕組みづくりを進めることにより、一層の普及を図っています。

【効果】

富士川町では、町内イベントでリユース食器を利用する場合、**町が費用の半額を補助**するとともに、スペースふうが町内割引を実施し、さらに、多種多様な町内団体がリユース食器利用のための協賛金を提供することから、**町内では実質無料でリユース食器の貸出**ができるようになっています。

【問合せ先】NPO 法人スペースふう ☎0556-22-1150 <http://www.spacefuu.net/index.html>





2Rシステム構築モデル事業



2Rは、非常に裾野が広い概念であって、「具体的にどのような取組を進めれば良いのかが分からない」「関係者が多岐にわたる」「物品の種類ごとにその取組は多様で、制度的な対応は難しい」といった指摘があることを踏まえ、平成27年度、「2Rシステム構築モデル事業」を実施する。



事業概要

2Rの取組がより進む社会経済システムの構築を目指し、社会経済システム構築に当たっての課題等を分析・評価するため、地域において多様な主体が参画する会議体を設置し、

- 規制的手法(2R促進条例や公表条例等)
- 経済的手法(2Rエコポイントやデポジット制度)
- 情報的手法(2Rエコラベルの導入等)
- 自主的手法(住民と自治体との2R協定等)

の4つの手法のいずれかを用いて、資源をなるべく使わない、あるいはごみ発生量の減少に繋がる2R取組について、モデルとなる制度的な取組を支援する。





「3R行動見える化ツール」の開発・普及



➡ 3Rに資する個々の行動(「3R行動」)が**環境負荷を削減する効果を数値化**して表すもの

メリット

- 消費者が、なんとなく環境にいいだろうということで実践してきた3R行動の環境負荷削減効果が、数値でわかる。
- 企業の取組の環境への貢献を、数値でPRできる。

3R行動の項目(例)

リデュース

- ・減量容器の販売
- ・量り売り販売
- ・レジ袋辞退
- ・簡易包装の推進
- ・マイボトル、マイ容器の利用

リユース

- ・リターナブル容器製品の販売
- ・古着のリユース

リサイクル

- ・ペットボトル
- ・食品トレー
- ・卵パック
- ・家庭用廃油
- ・アルミ缶
- ・スチール缶
- ・紙
- ・インクジェットカートリッジ

ツールの活用例

〔 環境負荷削減効果を POPで店頭表示した例 〕



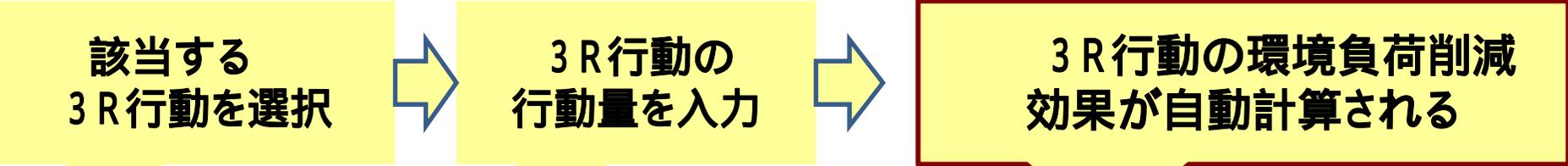
(協力:コープかながわ ハーモス荏田店)

・3R行動見える化ツール

URL: http://www.env.go.jp/recycle/circul/3r_visu-tool.html

「3R行動見える化ツール」の使用方法

環境省HP上のエクセルで簡単な計算が可能！



3R行動項目(例)	商品名	事業者の行動量	天然資源投入量削減 (L)	廃棄物発生量削減 (kg)	最終処分量削減 (kg)	CO2削減 kg-CO2
減量容器への置換	軽量ペットボトル(500ml)の清涼飲料水	1000本	原油 8.10	0.00	0.50	35.38
リターナブル容器の利用	ビール瓶(500ml)1本購入当たり	500本				
食品トレー無し販売	食品トレー ポリ袋(肉100g相当)	1000個				
レジ袋辞退	レジ袋(Lサイズ)	2000回	原油 6.46	13.6	0.76	65.58

計算可能な環境負荷削減効果は4つ。

- 天然資源投入量の削減量
- 廃棄物発生量の削減量
- 最終処分量の削減量
- CO2の削減量



ご清聴ありがとうございました。



Webサイト <http://www.re-style.env.go.jp/index.html>

Facebook <https://www.facebook.com/pages/Re-Style/293722053982088>